

CAPO 1

花嫁になる君へ

詞：岡本おさみ・曲：吉田拓郎

指が触れたら ポツンと落ちてしまった

椿の花みたいに おそらく観念したんだね

君はいつものように 電話に僕を呼び出し

僕を笑わせた後で その宣言をしたのだった

「お料理を習うのも まんざら捨てたもんじゃないヨ」

そちらから 先に電話を切ったから

君はもっと他のことも 言おうとしてたんだろう

受話器を置いたら 終わってから初めて気づく

運命みたいに 僕にも悲しみが湧いてきた

君はこれから僕に 気軽に電話をしなくなり

僕の退屈さを救ってくれる 君は居なくなったのだ

「お料理を習うのも まんざら捨てたもんじゃないヨ」

突然だけ とても確かになったのは

取り残されたのは 僕だったということなんだ